

つくば市議会提言書

令和4年10月4日 予算決算委員会

事業名	シェアサイクル実証実験事業
事業概要	T×つくば駅及び研究学園駅前周辺地域の公共交通の補完による移動の利便性向上、中心市街地活性化への寄与、通勤時間帯を始めとした道路渋滞の緩和及び自転車通勤への転換を支援するため、シェアサイクルを導入した。
提言内容	
<p>令和3年度の実績はまだ周知不足もあり、利用者が横ばい傾向であったが、徐々に利用者数や収益も増加してきている。これからも利用者数が増えると考えられ、自転車の台数やポート数もさらに必要になると推測される。この事業が公共交通の一角を担うよう、利用者も含め多くの市民の声を反映しながら実証実験期間中であっても積極的な事業推進を望みたい。</p> <p>また今後、利用料のみで管理運営費を賄うことは難しいと考えるため、自転車の車輪カバーやポートに広告を掲示するなど、広告料を収益に加えることが、長く市民に寄り添う公共交通として活用していく上で重要であると考え</p> <p>る。</p>	

予算決算委員会都市建設分科会

提言に対する対応

1 この事業が公共交通の一角を担うよう、利用者も含め多くの市民の声を反映しながら実証実験期間中であっても積極的な事業推進を行うことについて、今年度は、つくばリードタウン及びコーチャンフォーつくばにサイクルポートを増設し、また、LALA ガーデンつくばから松代公園にポートを移設する等の再配置を行った。また、利用状況を精査し、利用が多いポートのサイクルラック増設や自転車再配置の最適化を図った。

今後も、市民の意見を踏まえつつ運営の最適化を図ることで、市民の交通利便性向上を実現していくこととした。（サイクルコミュニティ推進室）

2 自転車の車輪カバーやポートに広告を掲示するなど、広告料を収益に加えることについて、現在もシェアサイクル事業への地方創生推進交付金や利用料収入の充当等により市の財源のみに頼らない運営を行っている。広告料収入については、広告掲載元の選定基準などを検討することとした。（サイクルコミュニティ推進室）

提言に対する対応についての分科会所感・確認事項

市の財源だけに頼らない事業運営を進めるため、広告収入についての検討や国の交付金の充当、また、事業推進のためのポート増設などの取組が進められており、評価するところである。

実証実験期間中の各種データの分析及び検証を踏まえ、本格運行に向けた検討を進められたい。

（都市建設分科会）

つくば市議会提言書

令和4年10月4日 予算決算委員会

事業名	周辺市街地活性化事業
事業概要	これまで実施してきた周辺市街地活性化事業のさらなる推進のため、地域振興のネットワーク組織（8市街地を包括的にサポート）の構築、チャレンジショップ等の展開による地域経済の活性化、周辺市街地活性化協議会・R8コンペ採択事業の自走化支援、8市街地以外の地域への地域振興施策の横展開等を行った。
提言内容	
<p>令和3年度の提言を受けて実施されている広く人材を募る事業を次年度以降も継続し、周辺市街地の活性化のための新たな担い手の育成に取り組まれたい。</p> <p>今後も、つくば市が関連するイベントや各地域の伝統的な祭りなど、多くの市民が交流し参加できる機会を設けることが、周辺市街地のみならず、市内全体の活性化につながると考える。</p>	

予算決算委員会都市建設分科会

提言に対する対応

1 地域づくりに携わる人材の発掘と育成について

本年度から実施している「つくばR8アイディアソン」では50名弱の参加があり、参加者により提案された8つのアイデアが各周辺市街地で実施されました。

提言を受け、来年度についても、このアイディアソンの実施を予定しており、地域づくり人材を周辺市街地へ呼び込み、地域住民とともに地域づくりを経験できる場を提供していきます。

2 市が関連するイベントへの周辺市街地活性化協議会が参加できる機会の創出について

昨年度の提言を受けて、本年度は吉沼、栄の活性化協議会が、市民文化祭に出展を行うことで、活動をより多くの市民に知ってもらい、交流する機会とすることができました。また、谷田部の協議会では市民文化祭と同日に隣接する会場で「谷田部市街地のオータムフェア」を開催し、吉沼では伝統の祇園祭りと同日に「吉沼マルシェ」を開催し、それぞれ相乗効果を得ることができました。

今回改めて提言をいただき、来年度についても、このような取組が他の周辺市街地にも波及するように展開していきます。

(1、2ともに周辺市街地振興課)

提言に対する対応についての分科会所感・確認事項

市内8地区の周辺市街地活性化協議会においては、大変活発に活動されており、各協議会の方から前向きな意見をいただいている。

また、令和4年度実施のアイデアソンでは新たな参加もあり、市の取組について評価するところである。

今後の事業継続に当たっては、予算配分も考慮しながら丁寧に対応されたい。

(都市建設分科会)

つくば市議会提言書

令和4年10月4日 予算決算委員会

事業名	空き家対策補助事業
事業概要	空き家の有効活用を促進するため、空き家のリフォームや、リノベーション等を行い活用する方に補助金を交付した。
提言内容	
<p>事業補助金のうち国の補助金に用途制限があることで、必要な活用ができていない場合がある。しかし、市内の空き家は年々老朽化が進み、管理不全物件が増えていくことが予想される。</p> <p>今後は、空き家バンクの一層の周知により、補助金をいかす空き家需要の拡大を進める必要があると考える。</p>	

予算決算委員会都市建設分科会

提言に対する対応

空家対策補助事業について

空家対策補助事業については、「空家活用補助金」及び「空家活用・地域交流拠点づくり支援補助金」を実施しています。このうち「空家活用補助金」については、国の交付金を活用しているため、補助の対象を「空家バンク登録物件を市外在住者の利用登録者が購入」した場合に限定しています。

しかし、現在の空家バンクの利用登録者は、市内在住者が過半を占めていること、登録者のほとんどが「定住」を目的としていることから、空家の有効活用を推進するため、市外在住者等の要件を緩和することを検討します。

また、空家バンクの周知については、利用登録について個人だけでなく団体等も可能とすることや、利用登録者の希望を空家所有者等側に情報提供する等の取組を検討します。

なお、これらの取組は、現在策定している第2期つくば市空家等対策計画においても具体的な施策としています。（住宅政策課）

提言に対する対応についての分科会所感・確認事項

空き家対策に係る補助金の活用及び空家バンクに係る制度の見直しが進められており、その取組について評価するところである。空き家は今後も増加することが予想されるため、引き続き空き家対策に尽力されたい。

（都市建設分科会）